※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１３

令和５年度　工業科（建築設備系　建築システム専科）

教科	工業科	科目	建築計画	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「建築計画」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

住宅設計の基本を学び、プランを立てられるようにします。
建築設計製図と密接に関連しており住宅製図の基本となります。また、快適な生活空間に関係する室内外の環境や建築の歴史についても学習します。建築構造などの知識や理解も必要で条件に適合した住宅を計画できると共に正確に図面に表現できることが求められます。

2　学習の到達目標

建築と環境、建築設備、各種建築物の計画、都市計画など建築計画に関する基礎的な知識・技術を理解・習得させ、建築空間を合理的に計画・設計するための基礎的能力を養う。
私たちの身のまわりの住宅や様々な建築物の他、住んでいる町に興味関心をもち、そこで暮らす人々の生活の営みや自然環境などを科学的にとらえる力を身につけさせる。
建築物が人間生活の中に存在する意義を学習し、健康的で豊かな空間をつくりだせるよう指導する。建築計画の概要、建築物内外の環境、住宅の計画に関する基礎的な知識を理解させる。
「実習」「製図」と関連させることにより、建築空間を総合的・合理的に計画・設計するための知識・技術を理解・習得させる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築計画の基礎基本的事項を学習し、環境に関わる指標を計算できると共に住宅のプランを様々な観点から計画できる。また、正しい知識を身につけ必要な事項について自主的に調べながら住宅計画が立てられる。	建築計画の概要や基本計画と関連させながら住宅の計画・設計ができる。快適な住宅とは何かを考え、計画図面に表現できる。	建築計画に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、習得にむけて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を身につけようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	建築計画の概要	・建築計画とは ・地球環境と建築計画 ・日本の建築の歩み ・世界の建築の歩み ・建築計画で学ぶこと	a:　建築計画に関わるさまざまな事象やそれに関わる問題点を把握して分析し，習得した知識や技術などを活用し、計画することができる。 b:　地球環境や日本・世界の建築の歴史について理解し、建築計画の基礎的な事項を展開できる。人間生活の基盤となる住宅（特に住宅）を取り上げ、計画・設計の手法を考察することができる。 c:　建築計画の概要・建築の歴史・室内外における環境に関わる基礎的な知識や技術に関心を持ち、その習得に意欲がある。	定期考査 確認テスト 課題プリント	定期考査 確認テスト 課題プリント	観察 課題プリント 提出ノート 振返りシート
	建築と環境	・建築と環境の概要 ・屋外環境と室内環境				
2学期	建築と環境	・換気と通風 ・伝熱と結露 ・日照と日射 ・採光と照明 ・色彩 ・音響	a:　室内外の環境に関わるさまざまな事象やそれに関わる問題点を把握して分析し，習得した知識や技術などを活用し、計画することができる。 b:　室内外の環境について理解し、建築計画の基礎的な事項を展開できる。人間生活の基盤となる住宅（特に住宅）を取り上げ、計画・設計の手法を考察することができる。 c:　室内外の環境に関わる基礎的な知識や技術に関心を持ち、その習得に意欲がある。	定期考査 確認テスト 課題プリント グループワーク	定期考査 確認テスト 課題プリント グループワーク	観察 課題プリント 提出ノート 発表 振返りシート
3学期	住宅の計画	・住宅の意義 ・住宅計画の進め方 ・全体計画 ・各部の計画	a:　住宅の役割・種類・構成・性能などの理解を深め、習得した知識や技術などを活用し、計画することができる。 b:　住宅の役割・種類・構成・性能について理解し、建築計画の基礎的な事項を展開できる。人間生活の基盤となる住宅（特に住宅）を取り上げ、計画・設計の手法を考察することができる。 c:　住宅の役割・種類・構成・性能に関わる基礎的な知識や技術に関心を持ち、その習得に意欲がある。	定期考査 確認テスト 課題プリント グループワーク	定期考査 確認テスト 課題プリント グループワーク	観察 課題プリント 提出ノート 発表 振返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度